

# 発達障がいのある方のリモートによる 能力開発の可能性

○ 井上 宜子

社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会  
サテライト・オフィス平野

# はじめに

## ①サテライト・オフィス平野とは？

【沿革】 就労前準備から就職後の定着支援まで一貫した就労支援を実施

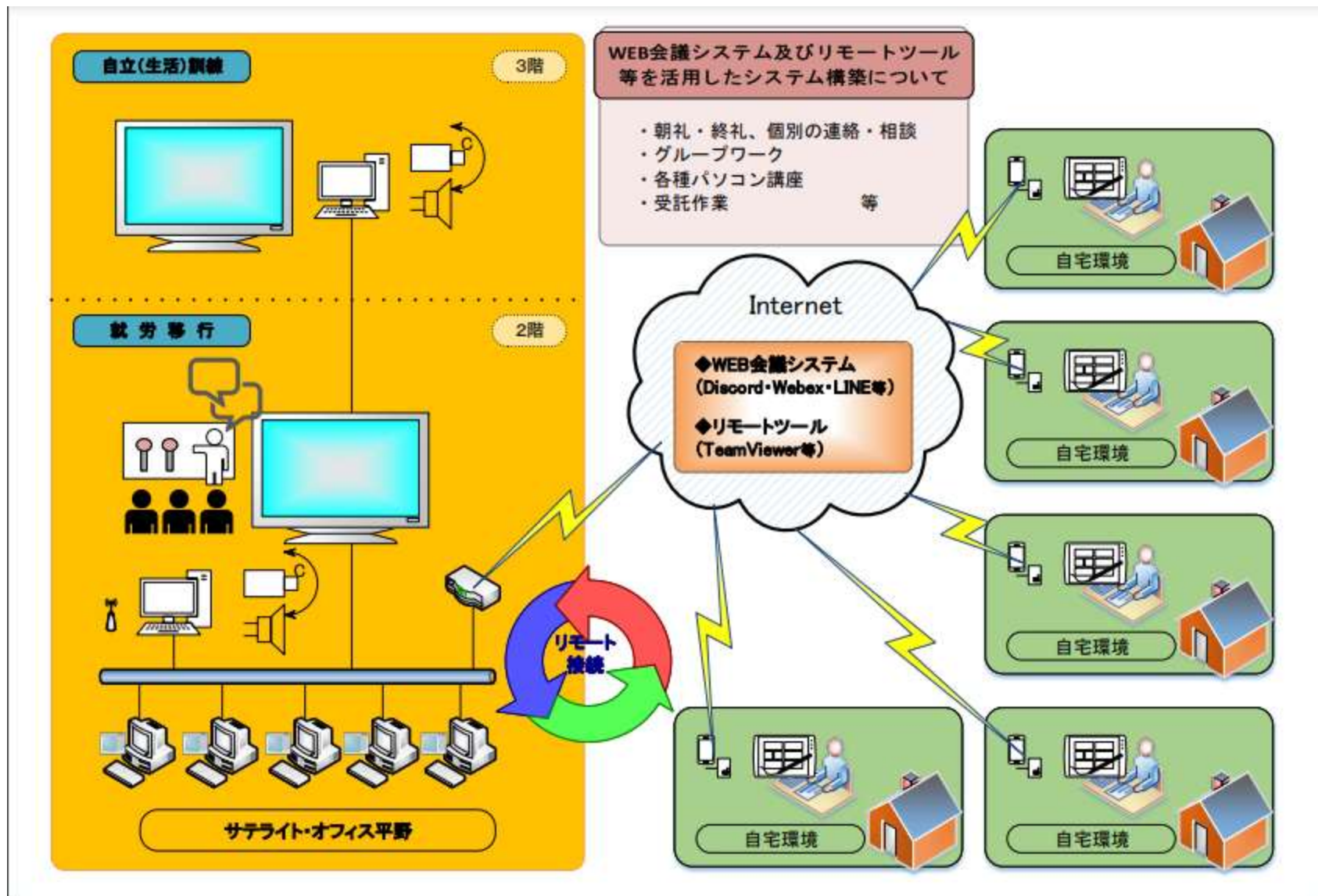
- ・平成21年 発達障がいのある方を中心とした就労移行支援事業
- ・平成26年 自立（生活）訓練
- ・平成28年 ジョブコーチ事業
- ・平成30年 就労定着支援事業
- ・令和 2年 在宅支援の拡充

【特徴】 グループワーク（以下「GW」）、講座（Microsoft Office、adobe）を利用者主体で受講、受注作業、職場実習を経て就職

## ②本稿の目的

就労移行における在宅支援の状況、利用者アンケート、事例紹介よりリモートによる能力開発可能性について触れる

# サテライト・オフィス平野における在宅支援のイメージ図



# 在宅支援の状況

- ・必要に応じて、タブレット、パソコン、モバイルルーター、TeamViewerの貸し出し
- ・事業所への通所、在宅を併せて実施

## 在宅支援の状況

目的	リモートツール	配信の形体
緊急連絡 事務連絡	LINEの 公式アカウント	事業所より一斉 に配信
	電話	
個別の報告・ 連絡・相談	LINE Discord	1対1
朝礼・終礼	Webex	ハイブリット
GW、講座	Webex	ハイブリット
スキルアップ・ 受託	Discord クラウド	1対1
		数人でチャット或 いは通話

## 時間割

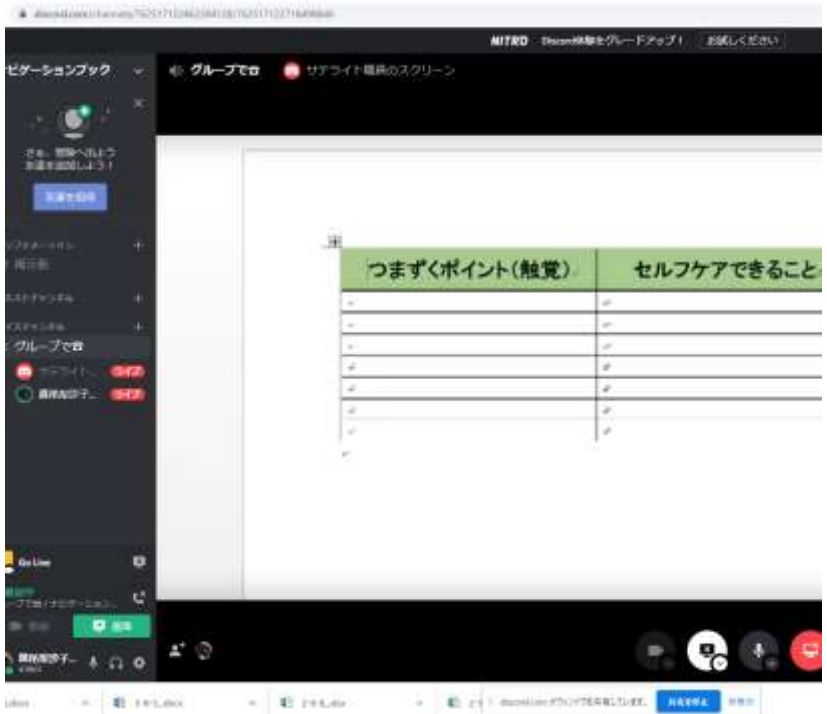
- ・GWや講座を選択しない時はスキルアップや受託を実施  
(リモートで対応)

	月	火	水	木	金
9:30	朝礼→個別連絡				
10時	GW (通所の み)	GW (通所の み)	GW (通所・リ モート)	個別対 応 (通所 或いは リモート)  課外活 動	講座 (通所・ リモート)
13時	GW (通所の み)	講座 (通所の み)	GW (通所・リ モート)		GW (通所・ リモート)
15時	GW (リモート のみ)	講座 (通所の み)	GW (通所・リ モート)		講座 (通所・ リモート)
17時	終礼→個別連絡				

# リモートにおけるGWやスキルアップ講座の実際

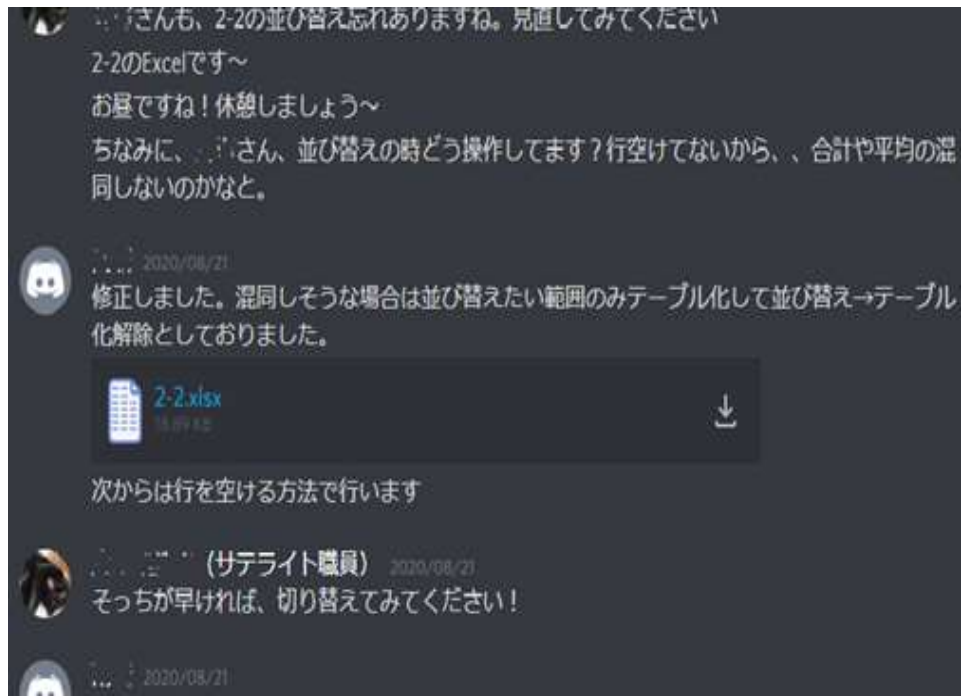
## 【リモートのみのGW】

・ Discordで画面を共有しながら、自らの特性を話し合う。利用者から出た意見を共有画面に記載していく



## 【リモートのみのスキルアップ講座】

Microsoft office、adobeの課題を各自行い、Discordで提出。職員が各課題に助言



# 利用者へのアンケートから

目的	配信の 形体	良かった点	悪かった点
個別の報告・連絡・相談	1対1	コミュニケーションが気軽にできる すぐにメッセージを受け取れる	職員からいつメッセージが来るかわからない
		通知が来たときどこでも受け取れる	込み入った相談は直接話す方が話しやすい
朝礼・終礼	ハイブリット		司会以外の人声が聞き取りにくい
グループワーク、講座	ハイブリット	自分の顔が見ながら話せるのでなぜか話しやすい	司会以外の人声が聞き取りにくい
			講座のプリントが自分のペースで見ることができない
スキルアップ・受託	1対1	一人ででき、聞きたいときに聞ける 長い文書も送りやすい	通知に気付かないことがある
	複数でチャット或いは通話	コミュニケーションが増えるきっかけになった	ある程度の提出数を出さなければ罪悪感がある

リモート利用中(就労移行)の10名にアンケート

【よかった点】

- ・自分のペースでスキル取得や報告・相談ができること
- ・自分の顔をみながら話せる等、リモートならではの特性が良い方向に出ている

【悪かった点】

- ・ハード面の調整不足
- 例)  
ハイブリットでのマイク調整不足  
画面共有されるので、講座のプリントを自分のペースで見ることができない 等
- ・他の利用者の成果物や出来栄えが分かってしまう

# 新たな効果が見られた事例

診断名：広汎性発達障害

## ①本人の属性

- ・ 専門学校卒業後、就職活動難航し障害者手帳取得

## ②支援の経過

- ・ 平成30年から就労移行利用。ワード・エクセル等のスキル取得、GW参加、数社の職場実習

## ③課題

- ・ 意見を上手に伝えられないため、意思疎通がうまく行かない。自己表現できないジレンマで就職へ踏み出せない

## ④リモートの利用

- ・ WebexでGW、LINEで個別面談、ワード・エクセルの演習、プリント学習

## ⑤リモートの効果

- ・ GWで本人のユニークな発言、くつろいだ姿で登場する人柄が話題となり、意見交換がスムーズに進み、冗談を交えリラックスした雰囲気を作り出すと意見を上手に出せることが分かる
- ・ 就職へ踏み出し、令和2年10月より就職

## その他の利用者の効果

- ・自分から話しかけることができなかった人が趣味や他の人の意見をDiscordできくようになった
- ・今までGWに入ることができなかった人が、積極的にGWに入るようになった
- ・通所時は感覚過敏で苦しんでいた人が、在宅支援では、スキルアップのスピードが非常に早く、完成度の高い作品を仕上げることができる
- ・今まで質問できなかった人が質問できるようになった

等



# 今後に向けて

## 【課題】

- ・ハード面の調整不足
- ・他の人の課題や成果物が明白になり、プレッシャーとなる
- ・リモートでは理解が難しい人や意欲が継続しない人もいる

## 【今後に向けて】

- ・リモートの良さ（自分のペースでできる、コミュニケーション増える、仮想空間では意見交換ができる、感覚過敏の悩みが減る等）を活かしたグループワークや講座の継続
- ・改善にむけた取り組み、利用者ごとのニーズの把握の重要性（随時アンケート等の実施が必要）